

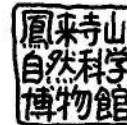
# 博物館物語 -その3-



鳥居喜一

## 昭和から平成へ

## 博物館ザッ記 No.38 2023.Ⅱ



昭和49年  
(1974)

鳥居喜一先生採集の植物標本受入  
腊葉標本約30,000点を標本庫に収納

昭和50年  
(1975)

NHK放送開始50周年を記念し、コハスグ実況放送(5月4日・5日)  
鳳来寺山自然科学博物館の友の会発足(8月15日)

昭和51年  
(1976)

博物館友の会、75名でスタート。年会費600円(4月1日)  
モリアオガエル観察池完成(4月11日)

昭和52年  
(1977)

フッポ-ソ-コーナー完成(5月23日)  
鳳来町の木「鳳来寺杉」、花「ホソバシマツナゲ」制定(7月30日)

昭和53年  
(1978)

動物生態展示コーナー改善(3月31日)  
天野景従貝類コレクション受入(9月11日)

昭和54年  
(1979)

博物館ロビー改善(3月1日)、「鳳来町自然と文化」発行(5月25日)  
入館料:大人200円(団体160円)、小・中学生100円(50円)(4月1日)

昭和55年  
(1980)

分類展示コーナー改善(3月30日)  
ニホンカモシカの生態展示(6月24日)

昭和56年  
(1981)

沖縄で「マンボルイナ」発見(11月13日)

昭和57年  
(1982)

分類展示改善(3月30日)  
梅村基太郎資料受入(12月22日)

昭和58年  
(1983)

生態展示、地形模型改善(3月31日)、地学展示改善(10月29日)  
開館20周年記念式典開催(10月30日)  
博物館増築施設工事完成:地階学習室、トイレ、收藏庫、ベランダ、図書庫(11月15日)

昭和59年  
(1984)

図書收藏庫工事(3月31日)

昭和60年  
(1985)

鳳来寺山でコハスグの鳴き声途絶

昭和61年  
(1986)

チェルノブイリ原発事故(4月26日)  
地学展示改善

昭和62年  
(1987)

国鉄からJRへ分割・民営化(4月1日)  
NTTが携帯電話(ハンディターミナル方式)サービス開始



庄司寿完アナウンサー  
実況中継された  
仏法僧ラジオ放送で  
昭和10年の



分科会

平成5年  
(1993)

博物館休館日(火曜日)設定(4月1日)  
第2回「仏法僧シンポジウム」開催(6月27日)  
開館30周年記念式典開催、記念誌「鳳来寺山の自然誌」発行(11月11日)

昭和50年、博物館の活性化のため、友の会が作られました。昭和63年から、会員へ「はくぶつかんだより」を届けたり、会員証を刷新して、学習会に参加すると手製の消しゴム印を押すようにしました。すべての行事に皆出席し、館から表彰される会員もできました。しだいに友人や家族と入会される人が増え、100名ほどであった会員数が、平成5年には238名になり、博物館ににぎわいが生まれてきました。



平成元年度	学習会参加証
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	